

だい き さっぽろし すいしんけいかく 第2期札幌市スポーツ推進計画

パブリックコメント・キッズコメント

い けんしゅう 意見集

さっぽろしでは、あらたに「だい き さっぽろし すいしんけいかく」をさくていするにあたり、れいわ ねん(2024年)7月23日(火)から9月9日(月)まで、しみんみなからのご意見を募集しました。あわせて、同期間において、キッズコメントとして、しょう ちゅうがくせいむ がいようしりよう し ない しょう ちゅうがっこうとう はいふ、子どものみなさまからもいけん ほうしゅうを募集しました。

この意見集は、パブリックコメント・キッズコメントの結果と、みなさまからお寄せいただいたご意見に対する札幌市の考えをまとめたものです。

なお、ご意見は、その趣旨が変わらない程度に取りまとめ、ようやくして示しています。

- ※ おとな かた からいただいたご意見は3ページから、
しょう ちゅうがくせい かた からいただいたご意見は10ページから、それぞれけいさいしています。

れいわ ねん ねん がつ
令和6年(2024年)10月

さっぽろし
札幌市

【目次】

1	意見募集の概要	1
2	パブリックコメント（大人の意見）の内訳	1
3	キッズコメント（子どもの意見）の内訳	2
4	意見に基づく当初案からの変更点	2
5	パブリックコメント（大人の意見）の概要と札幌市の考え方	3
6	キッズコメント（子どもの意見）の概要と札幌市の考え方	10

1 意見募集の概要

意見募集期間	令和6年（2024年）7月23日（火）から9月9日（月）まで
意見募集方法	郵送、持参、FAX、電子メール、ホームページ（ご意見募集フォーム）
資料配布・ 意見募集場所	スポーツ局、札幌市役所本庁舎（2階市政刊行物コーナー）、各区役所（総務企画課広報係）、各まちづくりセンター、市有スポーツ施設（体育館、温水プールなど）、小中学校・高等学校・特別支援学校 など

2 パブリックコメント（大人の意見）の内訳

- (1) 意見提出者数・意見件数
9人・20件

- (2) 年代別内訳

年代	19歳以下	20代	30代	40代	
人数	1人	1人	2人	1人	
年代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
人数	1人	2人	0人	1人	9人

- (3) 提出方法別内訳

方法	郵送	HP	FAX	メール	持参	合計
人数	0人	8人	0人	1人	0人	9人

- (4) 意見内訳

意見区分	件数	構成比
第1章 第2期札幌市スポーツ推進計画の策定について	0件	0%
第2章 第2期札幌市スポーツ推進計画の策定にあたって	0件	0%
第3章 札幌のスポーツの現状と課題	0件	0%
第4章 第2期札幌市スポーツ推進計画において取り入れる視点	1件	5%
第5章 第2期札幌市スポーツ推進計画の方向性	1件	5%
第6章 目標達成に向けた方針・施策	3件	15%
第7章 計画推進のための取組	0件	0%
計画全体に関する意見	0件	0%
その他の意見	15件	75%
合計	20件	100%

3 キッズコメント（子どもの意見）の内訳

(1) 意見提出者数・意見件数

25人・25件

(2) 年代別内訳

年代	小1	小2	小3	小4	小5	
人数	0人	0人	1人	0人	0人	
年代	小6	中1	中2	中3	不明	合計
人数	23人	0人	0人	0人	1人	25人

(3) 提出方法別内訳

方法	郵送	H P	FAX	メール	持参	合計
人数	0人	25人	0人	0人	0人	25人

(4) 意見内訳

意見区分	件数	構成比
「スポーツ」とは？	0件	0%
どうして、新しいスポーツの計画が必要なの？	0件	0%
札幌のスポーツにはどんな課題があるの？	3件	12%
計画で目指すこと	6件	24%
計画で取り組むこと	3件	12%
計画全体に関する意見	1件	4%
その他の意見	12件	48%
合計	25件	100%

4 意見に基づく当初案からの変更点

市民の皆さまからいただいたご意見をもとに、当初案から修正した項目はありませんでした。

5 パブリックコメント（大人の意見）の概要と札幌市の考え方

いただいたご意見の概要と札幌市の考え方は以下のとおりです。なお、ご意見の趣旨が不明なもの、計画やスポーツ施策に関係のない意見などについては記載を省略しています。

No.	ページ数と項目	意見の概要	札幌市の考え方
第4章 第2期札幌市スポーツ推進計画において取り入れる視点			
1	P 4 4 (5) スポーツを通じた共生社会の実現	性別等を問わず、ともにスポーツを楽しめる環境を構築することとしているが、特に格闘系種目については、身体的な性別に配慮すべきである。	いただいたご意見を参考として、引き続き、スポーツ施策の推進に取り組んでまいります。
第5章 第2期札幌市スポーツ推進計画の方向性			
2	P 5 1 成果指標と目標数値	「⑥ 強化指定選手に選出されるアスリートの育成数」について、トップアスリートになれる人は限られているので、目標値を増やすことはせず、現状のままとすべきである。	実際にトップアスリートになれる人は限られるかもしれませんが、スポーツは身体的な活動だけではなく、心身の健康増進や生きがいを得られるものであり、アスリートの経験を生かすことで、札幌のひとやまちに活力をもたらすことができると考えられることから、札幌市では引き続き、札幌から世界に羽ばたくトップアスリートの輩出に向けた取組を推進していきたいと考えております。
第6章 目標達成に向けた方針・施策			
3	P 6 2 方針3 世界で活躍するトップアスリートの輩出	方針3では、各競技団体の横の連携について明記されていない。他の競技団体との交流により、アスリート・指導者の成長も期待できるので、競技の特性なども踏まえた上で、競技団体間の連携を図るべきと感じる。	札幌市では、さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業において、冬季5種目、夏季3種目におけるアスリートの育成を目指しており、専門競技を決めず、様々な競技のトレーニングを実施しております。 複数のスポーツを実施することは、様々な身体の動きを身に付け、パフォーマンスの向上にもつながることから、各競技団体間の連携を図っていきます。

No.	ページ数と項目	意見の概要	札幌市の考え方
4	P 7 2 ・札幌ドームの活用促進(再掲)	プロ野球チームの中には、本拠地の球場に冷房が無く夏季の運営に問題が生じていたり、高校野球で使用するため本拠地の球場が使用できないといった状況にあるチームもある。 そうしたチームについて、本拠地での試合開催に課題がある期間、または使用できない期間の試合を誘致すべきである。	大和ハウス プレミストドーム（札幌ドーム）については、全天候型多目的施設としてのポテンシャルを生かし、プロ野球も含めて様々なイベントでの活用の可能性について、幅広く検討してまいります。 いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
5	P 7 6 (2) 市街地におけるクロスカントリースキー大会の開催	除雪に関する機材や人材の不足等が深刻化している中で、市街地でのクロスカントリースキー大会は開催すべきではない。 また、大会を開催する場合、開催場所としては、過去に大和ハウス プレミストドームで行ったスキーマラソンのコースを使用すべきである。	本大会は、ウィンタースポーツの普及振興や観戦文化の醸成といった目的を達成するだけではなく、除雪等の負担を最小限に抑えた持続可能な大会を実現することが重要であると考えています。 そのため、開催場所や運営手法を毎年変更しながら、実証実験に取り組んでおり、大和ハウス プレミストドームでの実施も検討しております。
その他の意見			
6	—	公園にあるグラウンドについて、特定のスポーツ、特定の利用者ばかりが利用している状況である。 利用者同士の譲り合いに任せるのではなく、誰もが様々なスポーツをできるグラウンドとなるようにルールを整えてほしい。	多目的広場における、団体での公園利用につきましては、事前に届出をいただいております。他団体の利用と重なった際には、団体同士で日程調整等をしていただきながら、ご利用いただいているところであります。 当該届出はあくまでも日程調整を円滑に行うためのものですので、独占的・優先的に利用できるものではありません。 一般利用者や他団体の利用がある場合は、譲り合ってご利用いただくこととなっており、届出者にもその旨を説明しております。

No.	ページ数と項目	意見の概要	札幌市の考え方
7	—	公園のグラウンドについて、現状では、少年野球などの既存団体やチーム等の利用がメインであり、他競技では活用されていないが、公平性等の観点から問題があると思うので、競技人口等を踏まえ、整備や運用等の面で時代に合った適切な対応をしてほしい。スポーツを始めるきっかけや気軽な継続にとって、子どもだけでも利用できる公園は非常に重要である。	札幌市では地域に身近な公園を再整備する際に、地域の方々の意見も伺いながら、公園の広さや立地条件に応じた多目的広場等を整備するなどし、様々な遊びやスポーツも楽しめる環境を整備しております。施設整備に関しましては、今後も地域の方々の意見を踏まえながら、ニーズにあった公園整備を行えるよう努めてまいります。
8	—	スポーツ実施に関する主な課題として、「身近な場所で、仕事や子育ての合間などにスポーツを実施できる場所、気軽にスポーツに参加できる機会、一人で気軽にできる運動・スポーツの推進が必要」と掲げているのであれば、月寒体育館や美香保体育館の更新については、現在の立地場所での建て替えで良いのではないか。	人口減少社会や超高齢社会が進展していく中で、今後も市民がスポーツに親しめる環境を確保していくためには、効率的・効果的な施設配置など、将来にわたり持続可能な施設環境としていく必要があると考えています。加えて、新たな施設整備にあたっては、都市の魅力向上やまちづくりへの寄与など、その整備効果を高めていくことも必要と考えています。これらの観点から、新月寒体育館については大和ハウス プレミストドーム（札幌ドーム）周辺、新美香保体育館についてはつどーむを立地場所の候補地としています。
9	—	スポーツボランティアについては、ボランティアの持ち出しが多ければ、結局長続きしないと思うので、スポーツボランティアは有償とするべきである。	札幌市としても、引き続きボランティア管理・運営にあたっては、いきがいの創出やモチベーションの維持・向上が重要と考えており、いただいたご意見を含めて施策を進めてまいります。

No.	ページ数と項目	意見の概要	札幌市の考え方
10	－	スポーツ推進計画なので、限界はあると思うが、スポーツ参加に関して、忙しさや経済的負担が課題になっているということを踏まえて、市民の収入や労働時間にもっと切り込んでも良いと感じた。	いただいたご意見を参考として、引き続き、関係部局とも連携しながら、誰もがスポーツに参加できる環境の実現に向けて取り組んでまいります。
11	－	体育の授業で体験できる種目を増やしてほしい。	体育・保健体育の授業では、国が定める学習指導要領に基づき、器械運動や陸上競技、球技、武道、ダンス等、様々な運動・スポーツをバランスよく学習できるように進めています。 球技については、ゴール型（バスケットボールやサッカー等）やネット型（バレーボールやプレルボール等）、ベースボール型（ティーボールやソフトボール等）を体験することにより、様々な運動の特性に触れられるようにしています。
12	－	地域によって、冬のスポーツで必要となる用具に差があるので、気軽にレンタルできる仕組みを作してほしい。	札幌市の小・中学生を対象に、夏期と冬期の年2回、スケート貸靴料金助成を行っています。 また、未就学児（年少・年中・年長）とその保護者を対象とした、スキーレンタルセット料金助成を今年度から行います。 その他にも、中島公園や大和ハウスプレミストドームでは、歩くスキーの無料レンタルを行っています。 市民の方に御利用いただけるように、周知等を行ってまいります。
13	－	体育館の利用料金が他市町村と比べて高額のため、学生料金の設定等の配慮をしてほしい。	現在、札幌市の体育施設では、中学生以下の方は無料、高校生については一般利用者より安価に使用料を設定しております。 スポーツ施設の専用利用について

No.	ページ数と項目	意見の概要	札幌市の考え方
			では、一定時間貸し切りとなるため、年齢や団体の種別に関わらず、一律料金をご負担いただいております。 いただいたご意見は、今後見直しを行う際の参考とさせていただきます。
14	—	野球・サッカー以外の種目についても、小学生が無料で観戦できる機会を増やしてほしい。	札幌市では、プロスポーツネットSAPPOROで連携するチームの試合に札幌市内の小学生を無料招待する「サッポロキッズデー」を実施しており、バスケットボール（レバンガ北海道）やフットサル（エスポラーダ北海道）の試合でも無料招待を行っております。 また、大和ハウス プレミストドームで開催されるラグビーの日本代表戦やリーグワンの試合においても、市内小学生を対象とした無料招待を行っており、引き続き直接スポーツを観戦できる機会を創出していきます。
15	—	人工芝の運動施設（屋内・屋外）の新規建設を推進してほしい。	札幌市所管のスポーツ施設については、札幌市スポーツ施設配置活用実施方針に基づき、人口減少・超高齢社会の進展等、様々な社会情勢の変化に対応するため、効率的・効果的な施設配置により施設総量を抑制し、持続可能な施設環境を整えていくこととしています。 新たなニーズや不足している機能などについては、市民の利便性向上のほか、スポーツを核としたまちづくりの観点から、その必要性を踏まえ、慎重に対応を検討していきます。 なお、天然芝の施設ではありますが、市民が屋外で多様なスポーツ

No.	ページ数と項目	意見の概要	札幌市の考え方
			を楽しめる新たな場として、現在、(仮称)新琴似市民運動広場の整備を進めています。
16	－	小学校のグラウンドを人工芝に改修してほしい。	施工費用や維持管理費用、冬期間を含むグラウンドの使用方法について様々な課題があることから、いただいたご意見につきましては、他都市の状況も参考にしながら課題の整理に努めてまいりたいと考えております。
17	－	学校開放(グラウンド、体育館)や各区体育館、スポーツ施設の抽選に関して、スポーツ少年団に優先権を付与してほしい。 (類似意見1件)	学校開放は、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を市民に広く開放し、身近で手軽なスポーツ活動の場を提供することを目的に実施しています。 このため、札幌市に数多くあるスポーツ少年団に優先権を付与することで、スポーツ少年団以外の方の利用が制限される恐れがあることから、公平性・平等性の観点から優先権の付与は困難ですが、スポーツ少年団の活動が円滑に行われるよう、各競技団体との連携を図ってまいります。 また、各区体育館やスポーツ施設に関しましては、学童期の市民に対するスポーツの場の提供だけでなく、青年期以降の市民(青年期以降に初めてスポーツを始める方を含む)への場の提供も同様に重要であり、いかなる年齢層の市民に対しても平等にスポーツを行う機会を与える観点から、特定年齢層に優先権を与えることはしておりません。 いただいたご意見は、今後見直しを行う際の参考とさせていただきます。

No.	ページ数と項目	意見の概要	札幌市の考え方
18	－	学校開放（グラウンド、体育館）や各区体育館、スポーツ施設については、スポーツ少年団の利用の場合は料金を減額してほしい。（類似意見1件）	学校開放における利用料金は、市民が身近で手軽にスポーツ活動を行うことができるよう、他のスポーツ施設と比較し、低廉の料金設定としています。 このため、スポーツ少年団が利用する場合においても、一律の利用料金となっております。 スポーツ施設の専用利用については、一定時間貸し切りとなるため、年齢や団体の種別に関わらず、一律料金をご負担いただいております。なお、一般開放時の個人使用料については、中学生以下の方は無料としております。 いただいたご意見は、今後見直しを行う際の参考とさせていただきます。
19	－	サッカー少年団で学校のグラウンドや体育館が使用できる時間が短くなった。また、公共施設の予約についても、なかなか抽選に当たらず、活動できる場所がない。 いつでも、どこでも、だれでも、楽しくスポーツができる環境を整えてほしい。	いただいたご意見を参考として、引き続き、関係部局とも連携しながら、誰もがスポーツに参加できる環境の実現に向けて取り組んでまいります。

6 キッズコメント（子どもの意見）の概要と札幌市の考え方

いただいたご意見の概要と札幌市の考え方は以下のとおりです。なお、ご意見の趣旨が不明なもの、計画やスポーツ施策に関係のない意見などについては記載を省略しています。

No.	ページ数と項目	意見の概要	札幌市の考え方
札幌のスポーツにはどんな課題があるの？			
1	P 2	車が来ない場所に、赤ちゃんや子ども連れで利用できる散歩のコースを作ってほしい。 また、そのコース沿いに自動販売機や商店を設置するとよい。 さらに、保育園や幼稚園があると、運動しながら子どもの送り迎えや通勤ができてよいと思う。	札幌市では、「居心地が良く歩きたくなるまち（ウォーカブルシティ）」を実現するため、様々な取組を進めているところです。 いただいたご意見を参考として、引き続き、関係部局とも連携しながら、散歩・ウォーキングの推進に取り組んでまいります。
2		時間がなくてスポーツができない場合は、ラジオ体操をすればよいと思う。	いただいたご意見を参考として、引き続き、スポーツを実施できる市民の増加に向けて、取り組んでまいります。
3		年齢に関係なく、試合や大会を開催することで、札幌市に活気があふれると思った。	いただいたご意見を参考として、引き続き、スポーツを通じた地域・経済の活性化に取り組んでまいります。
計画で目指すこと			
4	P 4 目標 1 スポーツを通じて市民が生き生きとくらすまち	目標 1 がいいと思った。目標に向かって自分たちも頑張りたいと思った。	目標の実現に向けて、引き続き、スポーツ施策の推進に取り組んでまいります。
5	P 4 目標 2 ひととひとがスポーツでつながる共生のまち	目標 2 の内容が重要と感じた。 (類似意見 1 件)	目標の実現に向けて、引き続き、スポーツ施策の推進に取り組んでまいります。

No.	ページ数と項目	意見の概要	札幌市の考え方
6	P 4 目標 3 スポーツによりにぎわいがあふれているまち	これまで、札幌でいろいろな大会が開催されていることを知らなかったのも、人の出入りが多いところや学校などでパンフレットを配布するなど、もっと周知した方がよいと思う。	札幌市として後援や協力など開催支援に関わっている大会においては、地下鉄の掲示板や市内にあるモニター、また、広報さっぽろなど、様々な方法で広報を行っているほか、市内の小中学生を対象とする体験会などの事業がある場合には、学校にチラシ等も配布するなど、今後も広報に力を入れてまいります。
7	P 5 目標数値	直接スポーツ観戦率を伸ばすためには、試合の際の施設入場料を安くしたり、無料にしたりすることが効果的だと思う。	札幌市では4つのプロスポーツチームと連携協力をして、まちづくりを進めていくため「プロスポネットSAPPORO」を設立しています。 連携した取組のひとつとして4チームについては市民を無料招待する「区民応援デー」「キッズデー」の取組を行っています。今後も直接スポーツを観戦する機会を創出するような取組を行っていきます。
8		「強化指定選手に選出されるアスリートの育成数」について、例えば、今年のパリオリンピックに出場した札幌市出身のアスリートは3人しかいないので、2035年度までのあと11年で38人の増加を達成するのは難しいのではないかと。	決して簡単な目標ではありませんが、毎年着実に強化指定選手が輩出されている実績があることから、計画のとおり50人という目標を達成できるよう取り組んでまいります。
計画で取り組むこと			
9	P 6 ①子ども、仕事や子育て中の大人、お年寄りなど、だれもがスポーツに参加できる機会をつくります	屋内で実施するスポーツに関することについてももっと考えた方がよい。	冬に屋外でのスポーツがしにくくなる札幌市では、屋内で実施するスポーツの振興も重要であると考えています。 いただいたご意見を参考として、屋外・屋内を問わず、様々なスポーツの振興に取り組んでまいります。

No.	ページ数と項目	意見の概要	札幌市の考え方
10	P 8 ⑦スポーツを通じて、地域や経済を活性化します	国際大会の開催は、交通の便の活性化につながる。 また、人が呼び込めるので、経済も活性化するため、いい取組だと思えます。	今後も市民の皆さまに関心を持っていただける様々な国際競技大会を誘致し、国内外から人が集まることによる地域・経済の活性化を目指してまいります。
11	P 8 ⑧誰もが気軽にウィンタースポーツを楽しむことができるための取組を行います	札幌市の特徴でもある「雪」をスポーツとして活用したらいい。	「雪」に関係する運動・スポーツについては、札幌市では、これまでも、冬の暮らしを生かした健康づくりやウィンタースポーツの振興に取り組んでおり、今回の計画でも、それらの取組を進めていくこととしています。 「雪」を活用したスポーツのより一層の振興に向けて、引き続き、様々な取組を推進してまいります。
その他の意見			
12	—	いろいろな取組について書いてあるが、誰が企画・運営するのか。札幌市スポーツ局だけでは全てを実施できないと思う。本当に実現可能なのか気になるので、誰がやるのかをしっかりと書いてほしい。また、これから募集するなどの場合は、それについても書いてほしい。	ご意見のとおり、計画に記載している取組については、札幌市スポーツ局やその他の部局だけで実施できるものではありません。札幌市役所だけでなく、市民、スポーツ関係団体、民間の企業や大学など、様々な人や団体などと連携、協力しながら取り組んでいくことが必要です。 それぞれの取組に、様々な人や団体が関わっていくことになるため、個別に記載することは難しいですが、計画の基本理念や目標を達成するため、様々な人や団体としっかりと協力しながら、計画に記載している取組を実施していきます。
13	—	私たちがスポーツに積極的に取り組めるように計画を立ててくれてうれしかった。（類似意見1件）	皆さんにスポーツに取り組んでいただけるよう、計画に基づくスポーツ施策の推進に取り組んでまいります。
14	—	サッカーについて、幅広い年代への普及振興に取り組んでほしい。	札幌市では、北海道唯一のプロサッカーチームである北海道コンサドーレ札幌が、幅広い年代への普及振興に取り組んでいます。

No.	ページ数と項目 ^{すう こきもく}	意見の概要 ^{いけん がいよう}	札幌市の考え方 ^{さっぽろし かんが かんが}
			サドーレ札幌の活動を支援して おります。今後も幅広い年代の方 にサッカーに親しんでもらえる よう取り組んでまいります。

第2期札幌市スポーツ推進計画 パブリックコメント・キッズコメント意見集

発行：令和6年（2024年）10月

編集・発行：札幌市スポーツ局 スポーツ部企画事業課

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目1番地7 ORE札幌ビル9階

電話 011-211-3044 FAX 011-211-3046

Eメール sports-kikaku@city.sapporo.jp

市政等資料番号

01-E01-24-2019